

4年生が環境学習をしました



10月20日(月)に岐阜県地球温暖化防止活動推進員の村瀬さんに来校していただき、4年生が2回目の環境学習をしました。はじめに、私たちの生活に欠かせない電気エネルギーについて考えました。日本では石油や天然ガスを燃やして電気をつくっていること、石油や天然ガスは外国から輸入していて、量に限りがあることを教えていただき、手回し発電機で電気を起こす体験をしました。

そして、地球温暖化防止対策をした時としない時の地球の温度差のシミュレーションを見て、対策しないと2100年には地球上で人間が生活できるところがなくなってしまうことを知りました。そこで、地球温暖化のためのデコ活として、具体的に自分はどんなことができるか、そして大人の人にしてほしいことを考えました。

「地球が暑くなったらエアコンを使えばいい」と考えている子どもたちも、「温暖化で住む場所がなくなってしまう」ということを聞き、より危機感をもって温暖化防止対策をしていこうという気持ちを持ちました。